

先生方の学び「素材研修」でワクワク、ドキドキ

26日(金)にそれぞれのコースに分かれ、素材研修を行いました。

どのコースも、先生方の楽しそうな、そして嬉しそうな顔を見ることができ、私もとても嬉しくなりました。より、学年間、先生間のつながりが密になったように感じました。こういう時間は、大切ですね。

3 学年 わき水を使った調理にチャレンジ

探究 Co としては、もう1回湧き水探検に出かけるのかと思っていましたが、何と、3年生は湧き水を使った調理の教材研究を行っていました。

実際に、私も湧き水を使ったゼリーを食べさせていただきました。寒天やゼラチンを使って、どちらがおいしいのか、水の量を変えたらどうなのかなど、先生方も探究している姿に感動しました。一緒に関先生、小川先生も試食会にお邪魔し、「〇〇ができそうだね」「〇〇したらおもしろそう」など、様々なアイデアが飛び交いました。子ども達だったらどんなことを考えるのか、そんな姿を思い浮かべながら、教材研究をするのは楽しいですね。

また、ゼリー以外にも湧き水を使って作ったうどん。よもぎ団子も作っていました。教材研究は、バッチリだと思うので、あとは、子ども達にどうおろしていくのか、材との出会いが重要だと感じました。ここは、3年生だけでなく、みんなで考えていけるといいですね。



松本城探究

松本城には、7名の先生が行きました。しかも、担当して下さった講師の先生は、前任校でお世話になった教頭先生でした。そんなこともあり、和気あいあいと研修がスタートしました。

時折、クイズ形式で話していただく場面もあり、子どもにも、こんなおろし方をしてもいいのかな。とヒントになることがたくさんありました。松本城を外から見ると、中から見ると、階数が違うことは先生方も知っていますが、改めて解説を聞くと、より深く学ぶことができました。また、普段観光客の方が入れない場所にも案内していただき、得した気分になりました。

そして、何よりも外国から来ている観光客が多く、外国人の方が松本城に関心があることが分かりました。

どのように松本城をテーマに広げていくのか、ウェビングマップをする必要があるなど思いました。

4,6年の先生、志村先生、金子先生が行ったので、このメンバーで広げていければいいと思います。



旧開智学校探究

旧開智学校には、14名の先生が訪れました。講師の遠藤さんも、こんなにたくさんの先生が来てくれるとは思っていなかったと仰っていたので、先生方の関心の高さを感じました。

始めに遠藤さんから旧開智学校の概要をお聞きしました。その後、校舎の中に入りました。真っ先に感じたのは「涼しい」でした。そして、教室の中、螺旋階段を上って、屋根裏にあたる部分、最後には一番上の鐘を鳴らす場所まで上ることができました。実際に教室に入ると、この大きさに「30人!?」「50人入ることもある!!」など、驚きの連続でした。今の教室の感覚で入ると、さらに実感がわきますね。



伊藤先生からは、「国宝になった理由は?」という質問があったり、吉原先生からは、「お土産コーナーに、特支の子ども達が作ったものを置いてもらいたい」、加藤先生からは「プロジェクションマッピングをやるとしたら、どこでやれそうですか?」などの声も聞こえたりしてきました。先生方が、イメージを膨らませながら前に進もうとしている姿は、いいですね。

川の探究

後半、旧開智学校に来た伊藤先生の姿は、びしょぬれでした。その姿を見ただけで、川の探究は楽しかったんだろうなと感じました。そして、教頭先生も、いつもにも増してニコニコ笑顔で戻ってこられました。「楽しかった」と言う言葉に尽きますね。

かなり、色々な生き物(魚、カニ、エビ)がいたらしく、水槽の中はお魚でいっぱいでした。生き物に興味がありそうな子ども達は、喜んで活動しそうですね。まずは体験から入り、何度も体験していく中で、「生き物の飼い方」「生態系」「他の川はどうなのか」など子ども達の課題が見つかりそうな感じがしました。そして、生き物が好きな先生も、子ども達と一緒に共同探究者になれそうですね。

その他にも、博物館、井戸水探検、建築物探検に出かけられた先生方もいました。どの先生方も「すごい、よかった」「楽しかった」「わき水の違いが分かった」など、体験したことで感じるものがたくさんあったようです。

さて、気持ちが冷めないうちに先生方と一緒に考えていきたいと思います。子どもにどうおろしていくのか(材との出会い)が非常に重要になってきます。そして、どのように探究を進めていくのか、ある程度の見通し(計画)を持っている必要があります。カリキュラムマネジメントも含めて、探究のサイクルを考えていきたいと思います。